

第7回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
1	<p>○職員の懲戒処分について</p> <p>市職員の懲戒処分の規程を決めているのも市議会か。懲戒処分の問題が市の中ではっきりしていないということは問題ではないか。</p> <p>(柏崎地区・男性)</p>	<p>議会そのものは市職員の懲戒処分について関与していない。</p> <p>この場でお答えできかねるので、一旦、議会に持ち帰り、回答したい。</p> <p>※回答希望あり。</p> <p>(回答)</p> <p>まず、懲戒処分の規程につきましては、議会の議決事項ではございません。</p> <p>また、地方公務員法では、任命権者が懲戒等を行う権限を有するとあることから、懲戒処分は所属する職員の任命権者が行うこととなります。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました。</p> <p>(平成30年11月2日)</p>

第7回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
2	<p>○屋内スケートリンクについて</p> <p>今の時点で採算が取れないようなリンクをつくることに対して、議員の皆さんは最初から納得してこの案件を進めてきたのか。民間企業であれば採算が取れるか分からないものには手を出さないと思う。2千万円の赤字が出るかもしれないのに進めるといのが、市民感覚として分からない。</p> <p>(鮫地区・男性)</p>	<p>建設に至るまでに、たくさんのご意見があり、全員が賛成ではなかった部分もある。そういった中で、赤字になることについては非常に議論があったが、国からの補助があるという条件や、スポーツによるまちづくりをという市長の思いなどのほか、スピードスケートでオリンピック選手が出ることによりまちが変わっていく、日本が活気付く、そういったことがまちに活力をもたらすという意見もあった。施設の赤字がいいわけではないが、スポーツによるまちづくりにより、宿泊施設、観光物産、地域の方々に活力が出る、また、子どもたちが夢を持てるということで、建設するという結論に至ったものである。</p>	<p>意見として承ります。</p>

第7回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
3	<p>○議員定数について</p> <p>平成27年に議員定数の削減を行ってはいるが、これから人口が減り、2025年あたりには八戸市の人口も20万人を割るのではないかとされている。このことを踏まえ、議員定数の削減を考えているか。</p> <p>(鮫地区・男性)</p>	<p>これから人口減少ということになると、当然、議員の定数も考えていかなければならないと思っている。</p>	<p>中核市移行に伴い様々な事業が県から市へ移譲され議会の監視機能は以前にもまして重要になってきており、八戸地域の多様な住民の声を反映して議会運営を行う上で、現在の32人の定数は、当面、必要な人数であると認識している。</p> <p>しかし、これからの人口減少等を鑑み、定数のあり方については、当市を取り巻く社会経済情勢や財政状況など諸要因に配慮しながら、今後も検証いたします。</p>

第7回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
4	<p>○マチニワについて</p> <p>マチニワをつくるに当たり、中心街の活性化に向けてどのように機能させようと思っにつくったのか。行政がつくったものは、使い方がある程度制約されるため、自由に利用できないおそれがある。最初だけでなく、継続して賑わっていくような機能を持つ場として考えてつくっているのか。市民にとってしっくりこないものがどんどんつくられて、税金が投入されていることに納得がいかない。</p> <p>(鮫地区・男性)</p>	<p>まちなかに庭のような空間がほしいということ、中心市街地に来るにはどこか「場」が必要であること、三日町、六日町とつなげることでこの一帯にも回遊性が生まれるが、その拠点として重要な場所であると認識している。多くの市民の方々が使い勝手のいいような形で運営していけるよう、皆様方からたくさんのご提案をいただき、中心街に来るとこういう場所がある、ここに行くのが楽しみというような場所になればいいと思う。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました。</p> <p>(平成30年11月2日)</p>